

# 「京の年中行事」に関する市民アンケート

京都市では、京都をつなぐ無形文化遺産「京の年中行事」の選定に当たり、市民アンケートを実施しました。

募集期間 平成29年6月5日(月)～平成29年8月31日(木) アンケート回答者数 764人

アンケートに答えていただいた方の属性

居住地等	京都市在住	京都市通勤・通学	その他	不明
	692人	38人	13人	21人

  

年齢	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
	65人	172人	119人	139人	115人	105人	35人	14人

  

性別	男性	女性	不明
	338人	413人	13人

## あなたが大切にしたい、家庭や地域で引き継がれてきた「年中行事」は？

(複数回答あり。意見数1,465件)

### ベスト3は「正月」「盆」「節分」 京らしく「地蔵盆」「夏越の祓」「祇園祭」が上位に

あなたが大切にしたい、家庭や地域で引き継がれてきた「年中行事」については、「正月」(440件)、「盆」(154件)に続き、全国的に恵方巻を食べる風習が広まっている「節分」(140件)という結果に。また、「京の年中行事」の特徴として、京都をつなぐ無形文化遺産でもある「地蔵盆」(100件)や、和菓子の水無月を食べる風習が広く残る「夏越の祓」(53件)、京都三大祭で山鉾巡行でお馴染みの「祇園祭」(41件)が多かった。

行事等	件数	主な行動等
正月	440	初詣に行く、白味噌丸餅の雑煮を食べる、おせち料理を食べる、家族で集まる、お年玉をもらう、書初めをする、鏡餅を供える、門松・生け花・しめ縄飾り・松飾りを飾る、神棚にお札をまつる、神棚に手を合わせる、仏前にお参りする、鏡開きをする
盆	154	先祖を偲ぶ、お精霊さんを迎える・送る、墓参りをする、家族・親戚で集まる、迎え鐘をつく
節分	140	太巻き(恵方巻き)・鯛を食べる、豆まき、お札を納める
大晦日(年越し)	135	年越しそばを食べる、除夜の鐘を聴く、をけら詣りに行く、大掃除をする
地蔵盆	100	町内行事として参加する、地蔵を飾る、数珠回し・ふごおろし・ゲームをする、お菓子をもらう
上巳の節句 (桃の節句、ひな祭り)	60	ひな人形を飾る、桃の枝を供える、ちらし寿司を食べる、ひなあられを食べる
七草	53	七草粥を食べる
夏越の祓	53	水無月を食べる、茅の輪くぐり、鱧・芋茎を食べる
祭り	42	地域や氏神の祭りに参加する、屋台で食べる、ゲームをする、浴衣を着る
祇園祭	41	巡行・鉾を見物する、浴衣を着て宵山に行く、粽を飾る
端午の節句	27	兜飾り・大将人形・白馬などを飾る、柏餅・粽を食べる、鯉のぼりを立てる
七夕	25	笹飾り、短冊に願い事を書く
その他	195	

## 「年中行事」を大切だと思う理由は？ (複数回答あり。意見数2,038件)

### キーワードは「伝統・風習」「季節感」「家族・地域」

「年中行事」を大切だと思う理由としては、「伝統や風習を大切にしたいから」(449件)、「季節を感じられるから」(429件)のほか、「親族や友人が集まる機会になるから」(248件)や「地域の結びつきを深めるから」(122件)など、家族や地域をつないでいる点を挙げる回答が多かった。

伝統や風習を大切にしたいから (449)

季節を感じられるから (429)

親族や友人が集まる機会になるから (248)

暮らしにメリハリがつくから (201)

行事特有の食文化等もあるから (196)

祈願や感謝等の行事の意義が大切だから (174)

地域の結びつきを深めるから (122)

地域への愛着や誇りを育むから (120)

特に理由はないが慣習なので (79)

その他※ (20)

### 「その他」の御意見

- ・世の中、昔に比べて人付き合いが減っていると思います。家族や親戚が集まったり、人と交流する機会としても大切な時間だから。
- ・当然のように息をしている感覚で執り行える行事であってほしい
- ・家族が代々受け継いできたから
- ・子供たちに伝えていくから
- ・家族への感謝のために
- ・家族の絆を感じる
- ・楽しいから
- ・家族の無病息災を祈る
- ・文化の継承



# 1

## 睦月

### 【小寒】

「寒の入り」といわれ、更に寒さが増す頃。小寒から節分までの約一カ月を「寒の内」「寒中」といい、一年の中で寒さが厳しい時期です。

### 【大寒】

冷気が極まって、いちばん寒さがつくる頃。二十四節気の最後の節気で、この頃を越えると、寒さの中に、春の気配を感じるようになります。

- 1 歳旦祭 (各所)
- 1 元旦祭 (各所)
- 1 若水祭 (日向大神宮)
- 1~3 皇服茶授与 (六波羅蜜寺)
- 1~31他 都七福神めぐり (恵美須神社・六波羅蜜寺など)
- 2 書き初め・筆始め祭 (北野天満宮)
- 3 元始祭・かるた始め式 (八坂神社)
- 4 蹴鞠はじめ (下鴨神社)
- 5 大山祭 (伏見稻荷大社)
- 5 八千枚護摩供 (赤山禅院)
- 5 新始式 (城南宮)
- 7 白馬奏覧神事 (上賀茂神社)
- 7 若菜祭 (各所)
- 7頃 初釜 (三千家など)

- 8~12 十日ゑびす大祭 (恵美須神社)
- 8~14 後七日御修法 (東寺)
- 9~11 出世ゑびす祭 (粟田神社)
- 14 御棚会神事 (上賀茂神社)
- 14 法界寺裸踊 (法界寺)
- 15頃 左義長 (各所)
- 15 御粥神事 (各所)
- 15頃 楊枝のお加持・大的大会 (三十三間堂)
- 第2月曜 成人式
- 16 武射神事 (上賀茂神社)
- 17~18 初観音
- 20 湯立神楽 (城南宮)
- 21 初弘法 (東寺)
- 25 初天神 (北野天満宮)
- 28 初不動 (狸山谷不動院)

### 我が家の年中行事メモ

# 3

## 弥生

### 【啓蟄】

大地が温まり、土の中で冬ごもりをしていた生き物たちが目覚める頃。暖かな日が増え、春めいてくる陽気に、生き物たちが再び活動を始めます。

### 【春分】

昼と夜が同じ長さになる日で、この日を境に陽が長くなっていきます。自然をたたえ、生物をいつくしむ日として国民の祝日にされています。

- 3 ひなまつり・桃の節句 (上賀茂神社・市比賣神社など)
- 9 雨乞祭 (貴船神社)
- 10 芸能上達祈願祭 (虚空蔵法輪寺)
- 13~5/13 十三まいり (虚空蔵法輪寺)
- 15 嵯峨お松明式 (清涼寺)

- 20頃 彼岸会・春分祭 (各寺院)
- 22 千本釈迦念仏 (千本釈迦堂)
- 25 五穀豊穰祈願祭 (吉祥院天満宮)
- 25~4/7 北野をどり (上七軒歌舞練場)
- 最終日曜 はねず踊り (随心院)



### 我が家の年中行事メモ

# 2

## 如月

### 【立春】

春の兆しを感じる頃。暦の上ではこの日から春となり、また、旧暦では一年の始まりと考えられていたため、節分などの節目の基準となります。

### 【雨水】

積もった雪や氷が水になり、降る雪が雨に変わる頃。雪解け水が、田や畑を潤すため、昔から、農作業を始める目安とされています。

- 第1日曜 朔幣式灌繩 (八瀬天満宮)
- 2~4 節分祭・追儺式 (吉田神社・八坂神社・壬生寺・下鴨神社・廬山寺・北野天満宮など)
- 8 針供養法要 (虚空蔵法輪寺)
- 9 二九 (小山の山の神) (山科区小山地域)
- 11 七草粥の日 (城南宮)
- 初午の日 初午大祭 (伏見稻荷大社)



- 23 五大力尊仁王会 (醍醐寺)
- 24 幸在祭 (上賀茂神社・大田神社)
- 25 梅花祭 (北野天満宮)

### 我が家の年中行事メモ

# 4

## 卯月

### 【清明】

万物が清らかで生き生きとして見える「清浄明潔」という言葉を略した言葉で、花が咲き、鳥が歌い、すべてのものが春を謳歌する頃です。

### 【穀雨】

地上の穀物に、しっとりとした雨が降り注ぐ頃。天からの恵みの雨で、穀物がすくすくと育ちます。この時期に種をまくと、よく成長するといわれます。

- 1 献花祭 (伏見稻荷大社)
- 1~15 観桜茶会 (平安神宮)
- 1~30 都をどり (祇園甲部歌舞練場)
- 3他 土解祭 (上賀茂神社・貴船神社など)
- 6 白川女行列 (市内行列)
- 8他 花まつり (壬生寺・知恩院・清涼寺など)
- 第1日曜 御弓祭 (わら天神宮)
- 第1日曜、第2土日 嵯峨大念佛狂言 (清涼寺)
- 第1日曜~第3日曜 京おどり (宮川町歌舞練場)
- 10 桜祭り (平野神社)
- 12 水口播種祭 (伏見稻荷大社)

- 第2金曜を含む土日 方除大祭 (城南宮)
- 第2日曜 やすらい祭 (今宮神社)
- 第2日曜 豊太閤花見行列 (醍醐寺)
- 第2日曜 吉野太夫花供養 (常照寺)
- 20 四頭茶会 (建仁寺)
- 20頃~5/3 稻荷祭 (伏見稻荷大社)
- 20以降の第1日曜~5/5 松尾祭 (松尾大社)
- 24 愛宕鎮火祭 (愛宕神社)
- 29 曲水の宴 (城南宮)
- 29~5/5 春の壬生狂言 (壬生寺)

### 我が家の年中行事メモ



# 5

## 皐月

### 【立夏】

暦の上では夏の始まりです。瑞々しい新緑に彩られ、さわやかな五月晴れが続く頃で、一年でもっとも過ごしやすい時期といわれます。

### 【小満】

あらゆる生命が満ち満ちてくる頃。草木は成長して健やかに伸び、動物にも活気が溢れます。農家ではこの頃から田植えの準備をします。

- 1~15 **葵祭** (上賀茂神社・下鴨神社)
- 1~4 **千本ゑんま堂大念仏狂言** (千本ゑんま堂)
- 1~5 **藤森祭** (藤森神社)
- 1~5 **虫払定** (神護寺)
- 1,18 **御霊祭** (上御霊神社)
- 1~19 **今宮祭** (今宮神社)
- 1~24 **鴨川をどり** (先斗町歌舞練場)
- 3 **大般若祈願会** (狸谷山不動院)
- 3~5 **市民煎茶の会** (二条城)
- 5 **菖蒲神事** (貴船神社)
- 5 **泰山府君祭** (赤山禅院)

- 5 **氏子祭** (八大神社)
- 8 **山蔭神社例祭** (吉田神社内 山蔭神社)
- 10 **春季金比羅大祭** (安井金比羅宮)
- 13 **春季大祭** (市比賣神社)
- 17 **天道花神事** (天道神社)
- 第2日曜 **新日吉祭** (新日吉神宮)
- 第3土日 **下御霊祭** (下御霊神社)
- 第3日曜 **三船祭** (車折神社)
- 第3・4日曜 **嵯峨祭** (愛宕神社・野宮神社)
- 5月満月の夜 **五月満月祭** (鞍馬寺)

### 我が家の年中行事メモ

# 7

## 文月

### 【小暑】

梅雨が明け、夏の暑さが本格的になる頃。小暑と大暑を合わせた時期を「暑中」といい、暑中見舞いを出す期間とされています。

### 【大暑】

一年でもっとも暑さが極まる頃。体力をつけるために鰻を食べる「土用の丑」や、夏祭り、花火大会など、各地でイベントが行われます。

- 1 **御戸代会神事** (上賀茂神社)
- 1~31 **祇園祭** (八坂神社・各鉦町)
- 1~ **嵐山鶉飼い** (嵐山)
- 7 **七夕祭り** (各所)
- 7(土日の場合翌月曜) **水まつり** (貴船神社)
- 第3日曜 **御田祭** (松尾大社)
- 25 **虫払会** (真如堂)



- 25 **鹿ヶ谷カボチャ供養** (安楽寺)
- 28 **火渡り祭** (狸谷山不動院)
- 31~8/1 **千日詣** (愛宕神社)
- 土用の丑の日 **ほうろく灸祈祷** (三宝寺)
- 土用の丑の日頃 **胡瓜封じ** (蓮華寺)
- 土用の丑前後 **御手洗祭** (下鴨神社)
- 土用入後の土日 **本宮祭** (伏見稻荷大社)

### 我が家の年中行事メモ

# 6

## 水無月

### 【芒種】

「芒」は稲や麦などの穂先の毛のような部分を意味し、穀物の種を蒔く頃をさします。田植えの目安とされ、農家は大忙し。梅雨入りも間近です。

### 【夏至】

太陽が最も高く昇り、一年でいちばん昼が長く、夜が短くなる頃。暦上は夏の折り返しですが、暑さは日に日に増し、まもなく夏本番が訪れます。

- 1 **貴船祭** (貴船神社)
- 1 **雷除大祭** (北野天満宮)
- 1~2 **京都薪能** (平安神宮)
- 4 **御田植式** (松尾大社)
- 4 **歯供養** (ぬりこへ地藏)
- 10 **田植祭** (伏見稻荷大社・上賀茂神社)
- 15 **青葉まつり** (智積院)



- 15~30 **沙羅の花を愛でる会** (妙心寺東林院)
- 20 **竹伐り会式** (鞍馬寺)
- 30 **夏越の祓・茅の輪くぐり** (各所)
- 第3土日 **都の賑い** (ロームシアター京都)



### 我が家の年中行事メモ

# 8

## 葉月

### 【立秋】

秋の気配が感じられる頃。この日から、季節の挨拶は、暑中見舞いから残暑見舞いへ。少しずつ涼しさが感じられるようになります。

### 【処暑】

暑さが収まるという意味で、厳しい暑さのピークを越えた頃です。朝晩は涼しさを感じ、初秋の訪れとともに、穀物が実り始めます。

- 1 八朔
- 立秋前夜 **矢取神事** (下鴨神社)
- 上旬 **京の七夕**
- 7~10 **六道まいり** (六道珍皇寺)
- 7~10 **五条坂陶器まつり** (五条坂)
- 7~16 **お精霊迎え** (各所)
- 8~10頃 **万灯会** (六波羅蜜寺・壬生寺など)
- 9~16 **千日詣り** (清水寺)
- 11~16 **納涼古本まつり** (下鴨神社糺ノ森)
- 15 **花背松上げ** (花脊八桝町)
- 15~16 **松ヶ崎題目踊** (涌泉寺)

- 16 **五山の送り火** (如意ヶ嶽など)
- 16他 **灯籠流し** (嵐山、広沢池など)
- 22~23 **六地藏巡り** (大善寺・浄禅寺・地藏寺・源光寺・上善寺・徳林庵)
- 23 **久多宮の町松上げ** (久多宮の町)
- 23頃 **小塩上げ松** (日吉神社)
- 23~24 **千灯供養** (化野念仏寺)
- 24 **久多の花笠踊** (志古淵神社)
- 24 **雲ヶ畑松上げ** (高雲寺・福蔵院)
- 24 **広河原松上げ** (広河原下之町)
- 六斎念仏** (各所)

### 我が家の年中行事メモ

# 9

## 長月

### 【白露】

秋が深まり、草花に朝露が光る頃。下りた露が輝き、白い粒のように見えます。空高く、秋雲がたなびき、秋の気配が濃くなっていきます。

### 【秋分】

昼夜の長さが同じになる日で、この日を境に日が短くなり、秋の夜長の始まりです。秋分の日を中心とした一週間が、秋のお彼岸となります。

第1日曜 **八朔祭**  
(松尾大社)



9 **重陽の神事・重陽の節句**  
(上賀茂神社・虚空蔵法輪寺・車折神社など)

15 他 **放生会**  
(本能寺など)

第2日曜 **御田刈祭・神相撲**  
(大原野神社)

第3又は第4日曜前後 **萩まつり**  
(梨木神社)



21~23 **お砂踏法要**  
(今熊野観音寺)

秋分の日と前夜 **清明祭**  
(晴明神社)



第4月曜 **櫛まつり**  
(安井金比羅宮)

**中秋の名月**  
(大覚寺・上賀茂神社・下鴨神社 など)

我が家の年中行事メモ

# 11

## 霜月

### 【立冬】

木枯らしが吹き、暦上での冬の始まりです。お日様の光が弱まり、日も短くなります。早いところでは、初雪の知らせが聞こえることも。

### 【小雪】

雨が雪に変わる頃のこと。雪が降り始めるとはいえ、積もるほどは降らず、さほど多くないことから、「小雪」といわれます。

10月~12月 **お火焚き**  
(各所)

1 **亥子祭**  
(護王神社)

1~10 **祇園をどり**  
(祇園会館)

3 **曲水の宴**  
(城南宮)

5~15 **神泉苑狂言**  
(神泉苑)

第1金土日 **お十夜(十日十夜別時念仏会)**  
(真如堂)



8 **かにかくに祭**  
(祇園元吉町)

15頃 **七五三**  
(各所)

第2日曜 **嵐山もみじ祭**  
(渡月橋上流付近)

23 **筆供養**  
(正覚庵)

23 **新嘗祭**  
(各所)

26



我が家の年中行事メモ

# 10

## 神無月

### 【寒露】

朝晩の冷え込みがきつくなり、草木に滴る露が冷たく感じる頃。稲刈りが終わりを迎え、田畑に実る農作物の収穫も盛んとなります。

### 【霜降】

朝晩の冷え込みはさらに増し、早朝に霜が降り始める頃。鮮やかな紅葉がみられる中、露は霜と変わり、晩秋の名残と、冬の気配を感じます。

1~5 **ずいき祭**  
(北野天満宮)

上旬 **伏見祭**  
(御香宮神社)

上旬 **区民運動会**  
(各所)

上旬~下旬 **三栖の炬火祭**  
(三栖神社)

14 **人形供養**  
(宝鏡寺)

15頃 **矢代田楽踊り**  
(日吉神社)

第2月曜の前日 **八瀬赦免地踊り**  
(秋元神社)

第2月曜頃 **栗田祭**  
(栗田神社)

第2月曜含む連休 **秋の壬生狂言**  
(壬生寺)

第2日曜 **剣鋒差し**  
(西院春日神社・平岡八幡宮)

第3日曜 **二十五菩薩お練り供養**  
(即成院)

19 **船岡大祭**  
(建敷神社)

22 **鞍馬火祭**  
(由岐神社)

22 **時代祭**  
(平安神宮)



23 **烏帽子着**  
(木野愛宕神社)

23頃 **岩倉火祭**  
(石座神社)

25 **抜穂祭**  
(伏見稻荷大社)

下旬 **市民大茶会**  
(二条城)

我が家の年中行事メモ

# 12

## 師走

### 【大雪】

本格的な冬が到来する頃。山は雪に覆われ、平地にも雪が降り積もります。年末が近づき、新しい年を迎える準備が始まる時期でもあります。

### 【冬至】

一年でいちばん夜が長く、昼が短い日です。太陽の力が弱まる日であり、冬至かぼちゃや柚子湯などで、無病息災を願う風習があります。

上旬 **吉例顔見世興行**  
(南座)

7~10 他 **大根焚き**  
(千本釈迦堂・了徳寺など)



8 **針供養法要**  
(虚空蔵法輪寺)

13 **事始め**

13~31 **空也踊躍念仏**  
(六波羅蜜寺)

14 **山科義士まつり**  
(毘沙門堂・瑞光院・岩屋寺・大石神社など)

20 **御煤払**  
(西本願寺・東本願寺)

21 **終い弘法**  
(東寺)

23 **かぼちゃ供養**  
(矢田寺)

25 **終い天神**  
(北野天満宮)

31 **大祓**  
(各所)

31 **をけら詣り**  
(八坂神社)

31 **火之御子社鑽火祭**  
(北野天満宮)

31 **除夜の鐘**  
(各所)

我が家の年中行事メモ

## 京都をつなぐ無形文化遺産 京の年中行事

---

発行：京都をつなぐ無形文化遺産普及啓発実行委員会  
(事務局：京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課内 tel:075-366-1498)

企画・監修：京都市

編集：株式会社プラメイク

イラスト：梁川友世, 中村 滋, てらいまき, 辻ヒロミ, ホリグチ イツ, ひがしのえみこ



平成 29 年度 文化庁文化芸術振興費補助金 (文化遺産総合活用推進事業)

---